

# あなたがここにいるから・・・

## 7月です。

例年になく早い梅雨明けののち、7月に入りました。子供たちの会話からは、早くも夏休みに関する話題が聞こえてきます。

学校では、学習や生活の両面で1学期のまとめをしっかりと行ってまいります。

さて、先日は台風4号の本県上陸に伴い、やむなく臨時休校としました。保護者の皆様におかれましては、御理解と御対応をいただき、感謝申し上げます。大好きな雪小っ子に会えなかったことはとても残念でしたが、クロムブックを通して課題に一生懸命に取り組む姿も見ることができました。各御家庭で学びに向かう姿は、学校とはまた違った表情に見えました。

## 雪小っ子の心を見つめる教育週間

本校では、今年も6月24日（金）から6月30日（木）まで、「雪小っ子の心を見つめる教育週間」を設定しました。

初日には、校長講話を行いました。今回は、「自他の命を大切にすること」にするために、「言われて嫌なことば」いわゆる「悪口」について考えました。

私が担任時代、実際にクラスの子供に聞いた「言われて嫌なことば」をいくつか紹介しました。最初に「ばか」と書かれた紙を提示すると、次々に雪小っ子がつぶやきます。

「そんなこと言っちゃいけない！」  
「言われたら絶対に傷つく…」

いくつか同様の言葉を見せたあと、最後に次の言葉を提示しました。

**背が高い**

それを見た子供たちは、  
「それは悪口じゃない」  
「それは言ってもいい言葉です」

その後、少したってから、「でも、言われて嫌な友達もいたんだよね」と投げかけると、雪小っ子は一様に言葉を失いました。

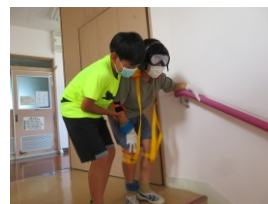
「言われて嫌かどうかは相手が決める」

「言う前に相手の立場に立って考える」

相手を思いやる言動こそが、自他の命を大切にする第一歩であることを、36名の雪小っ子と確認しました。

## 地区評価委員さんの訪問

教育週間中の6月29日、10名の地区学校評価委員のみなさまに御来校いただきました。私の学校経営方針等の説明ののち、ボランティア体験学習に挑む雪小っ子の様子を参観していただきました。



どの委員さんも、雪小っ子の学びの様子をたいへんにこやかな表情で御覧になっておられました。

参観後のアンケートから、子供たちの学びの様子についての感想を御紹介します。

- たいへん素直な子供たちで、日々安心して学校生活を送っている様子が分かった。
- マスクを着けて大変だろうが、発表者の方を向き、集中して聴くなど、落ち着いた学習態度だった。
- 大きな声であいさつしてくれるので、心がさわやかになった。
- 明るく意欲的に授業に取り組んでいた。

また、校舎内外の環境や各学級の掲示物等についても、お褒めの言葉をいただきました。いただいた御意見や御感想をもとに、今後も雪小ならではの、雪小だからこそできる教育活動を全職員一丸となって推進してまいります。

（文責 校長）